

林業安全コラム

健康な心と体で安全作業
目指すは笑顔の無災害
(平成30年 年間標語)

今月は、安全で効率的な実技習得に向けた徳島県の取組をご紹介します。

○ 徳島県：木材利用創造センター「林業人材育成棟」オープン

徳島県では、平成27年度から10年後の平成36年度までに、①県産材の生産量を平成16年度の約4倍の60万^m、②林業就業者を累計で330人増加、という2つの目標を掲げた「新次元林業プロジェクト」を展開しており、特に、林業の担い手の育成・確保を最重要課題と位置付け、平成28年4月に、現場の即戦力となる人材を養成する「とくしま林業アカデミー」を開講するとともに、産学官で林業の人材育成の強化に取り組んでいるところです。この取組を更に加速するため、林業の総合的な人材育成の拠点として、徳島市南庄町の木材利用創造センター内に建設していた「林業人材育成棟」が4月6日（金）にオープンしました。



林業人材育成棟 外観



大講義室

この施設の主な利用主体となる「とくしま林業アカデミー」は、林業の即戦力となる従事者を育成するため、1年間で座学や現地研修、インターンシップ等による研修を行っており、特に、林業機械の高度な技術の習得には現地での実践が必要ですが、現在は、林業事業体が現場で使用している機械を借りて現地研修を実施しており、また、作業現場も遠く、10人を超えるアカデミーの生徒が技術を高める上で、準備と費用が大きな負担・課題となっていました。このため、安全で低コストに生徒の技術修得を早める観点から、全国初となる最新鋭の搭乗型の高性能林業機械シミュレータ（ハーベスタ）を導入しました。シミュレータは、実際の座席や操作レバーに加え、高性能グラフィック技術を活用した55インチモニター3面により臨場感ある現場を再現しており、操作技術の習得を始め、安全教育にも活用されます。シミュレータの導入により、実習現場までの往復に要する時間の短縮や天候に左右されず運転操作を学ぶことが可能となり、安全で高度な技術の習得を早めることが期待されています。アカデミーの生徒からは、「ゲーム感覚で取り組み易いが、実際に乗ってみると立木を掴む感覚が難しい。」「操作ボタンが多いので、なかなかスムーズに動かない。」「操作に失敗して木や機械を痛めてもシミュレータなので安心、いきなり実際の機械は怖い。」「シミュレータでトレーニングを積んで早く実際の機械に乗ってみたい。」等の感想が寄せられています。徳島県では、シミュレータを、県の実施する林業技術研修の安全教育にも活用していく予定です。



シミュレータ

- 一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>
- 林業退職金共済制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。
- 労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。
(お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局
TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org)

林野庁
林業労働対策室
労働安全衛生班
TEL:03-3502-1629